

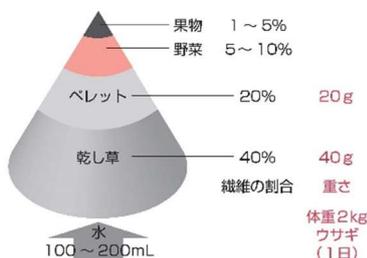
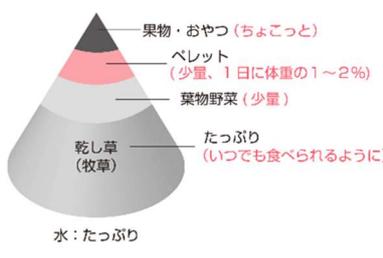
『新版 やさしいエキゾ学』（第1版第1刷）

訂正とお詫び

掲載記事中、以下の記述に誤りがございました。ここに訂正させていただくとともに読者の皆様および関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

株式会社 EDUWARD Press

2024年10月9日作成

頁	記事タイトル	該当箇所	誤	正	掲載
p. 9	おもな病気 内 胃腸うっ滞 (消化器疾患)	カコミ図版	 <p>果物 1～5% 野菜 5～10% ペレット 20% 乾し草 40% 水 100～200mL</p> <p>繊維の割合 重さ 体重2kg ウサギ (1日)</p>	 <p>果物・おやつ(ちょこっと) ペレット (少量、1日に体重の1～2%) 葉物野菜(少量) 乾し草 (牧草) たっぶり (いつでも食べられるように) 水：たっぶり</p>	2024/10/09
p. 93	デグー	ひとくちメモ 右段 上から2行目	体内でビタミンCをつくれない	体内でビタミンCをつくれない* (以下、注釈を追加) *デグーの体内におけるビタミンCの合成に関して、かつてはモルモットと似ているため「合成できない」とされておりました。一方で合成できるとの根拠とされる1980年の論文(Jenness, R. et al)以降は、エビデンスの高い論文は2023年現在見受けられないようですが、近年は、合成できるという記事も見られます。ただし、肝臓での合成が低下することがあれば、欠乏症に注意が必要と考えられます。	2024/04/05
p. 105	ハリネズミ	中段の画像2枚の 写真提供クレジット	写真提供：ソモゾノ学園	写真提供：シモゾノ学園	2024/04/05